

2011年3月11日 東日本大震災から10年

私たちは生きる。かけがえのないふるさと釜石に、共に生きる。

市は、平成31年3月11日に釜石市防災市民憲章を制定しました。
この憲章は、あらゆる災害から身を守る知恵を次の世代へ伝えるための市民の誓いです。
あの日の出来事を我々市民は忘れません、決して忘れてはいけません。
あの日の教訓を生かし、未来の命を守るため、後世に継承する市民総意の誓いです。

釜石市防災市民憲章
命を守る

釜石市防災市民憲章

命を守る

備える

災害は ときと場所を選ばない
避難訓練が 命を守る

戻らない

一度逃げたら
戻らない 戻させない
その決断が 命をつなぐ

逃げる

何度でも ひとりでも
安全な場所に いちはやく
その勇気は ほかの命も救う

語り継ぐ

子どもたちに
自然と共に在るすべての人に
災害から学んだ生き抜く知恵を
語り継ぐ

被災の状況

地震の概要	
発生日時	平成23年3月11日(金) 14時46分ごろ
震源	三陸沖(牡鹿半島の東南東130km付近)
規模/震度	マグニチュード9.0/震度6弱(市内中妻町)

津波の概要	
第一波	3月11日 14時台 -119cm
最大波	11日 15時21分 9.3m

※気象庁(釜石港湾合庁の痕跡などから推定した津波の高さ)
【参考】(公社)土木学会東日本大震災特別委員会総合調査団資料
9.2m(釜石湾平田漁港付近・浸水高)
19.3m(両石湾両石漁港背後地・遡上高)
15.4m(大槌湾釜石東中学校近くのがけ・遡上高)

釜石市の被災状況

- 【人的被害】
・死亡者数 1,064人
(行方不明者数 152人、関連死認定者数106人を含む)
・避難者数 9,883人(市内、H23.3.17最大)
- 【家屋被害】
・住家数1万6,182戸のうち4,704戸が被災(29%)
※被災の内訳(全壊2,957戸、大規模半壊395戸、半壊304戸、一部損壊1,048戸)
- 【産業関係】
・市内全事業所2,396事業所のうち浸水範囲の事業所数1,382事業所(全体の57.7%)
・漁業関係 市内3漁協の漁船1,734隻のうち1,692隻が被災(97.6%)

釜石市長 野田武則

東日本大震災の発生から10年の節目を迎えるにあたり、犠牲になられた皆様に謹んで哀悼の意を表します。

振り返ると、この10年は市民の皆様と心を一つにし、復興に取り組んだ道のりでした。震災後に策定した「スクラムかまいし復興プラン」に基づき、住まいの再建や土地のかさ上げ、防潮堤の整備などに取り組んでまいりました。令和2年度中に完了予定であった復興計画は、残念ながら住宅再建や水海地区避難道路整備工事、上平田川水門工事の完成が令和3年度中となる見込みですが、着実に事業の完了に近づいております。ここまでの復興は、市民の皆様や事業者の皆様、各地からの派遣職員の皆様、その他内外からいただいたご協力、ご支援なしにはあり得ないものでした。この場を借りて、改めて感謝申し上げます。

この間、大型商業施設の開店、海洋再生可能エネルギー実証フィールドへの国の指定、橋野鉄鉱山の世界遺産登録、岩手大学釜石キャンパスの設置、釜石港のガントリークレーンの供用開始、三陸沿岸道路の開通、ラグビーワールドカップ2019の開催など、長年の悲願としていた目標を達成することができました。特にもラグビーワールドカップは、東日本大震災の被災地を代表して世界に復興支援への感謝を伝え、スポーツの持つ力の素晴らしさを発信することができたと感じております。

このように、復興計画の完了は見えてきた一方で、ご遺族の悲しみは年月を経てもなお癒えることのないものであり、被災された皆様におかれましてもご心痛の尽きぬ日々であったものと拝察いたします。引き続き、被災者の皆様をはじめ、市民一人一人の誰にも復興を実感していただけるよう「真の復興」を目指して今後も取り組んでまいります。

本年4月からは、市民の皆様と作り上げた第六次釜石市総合計画がスタートします。コロナ禍という厳しい環境ではありますが、計画が掲げる「一人ひとりが学びあい 世界とつながり 未来を創るまちかまいし」という新しい将来像を目指して共にまい進してまいりたいと存じます。また、来る3月11日の東日本大震災犠牲者追悼式では、こうした復興の状況とまちづくりへの決意を犠牲になられた皆様へお伝えし、改めて鎮魂の意をささげたいと思っております。今後も皆様のご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

東日本大震災から10年を迎えて

鶴住居駅前に平成31年3月にオープンした「うのすまい・トモス」がまもなく2周年を迎えます。この施設には「いのちをつなぐ未来館」「釜石祈りのパーク」「鶴の郷交流館」「釜石市民体育館」の4つの公共施設が配置されています。東日本大震災の記憶や教訓を将来に伝えるとともに、生きることの大切さや素晴らしさを感じられる憩いの場であり、地域活動や観光交流を促進するエリアです。市民の皆さんも、ぜひご利用ください。

	開館時間	休館日
いのちをつなぐ未来館	9時30分～17時 (11月～2月)	毎週水曜日
	9時30分～17時30分 (3月～10月)	
鶴の郷交流館	9時～18時 ※トイレは24時間利用可能です	汐折～しおり～ 毎週月曜日
		野村商店 毎週水曜日
		浜のくまさん 毎週水曜日



ラグビーワールドカップ2019の試合当日は、来場者の玄関口として世界中の人を迎えました



いのちをつなぐ未来館には開館以来およそ9万4,000人が来館し、震災の出来事や教訓を学びました (1月末現在)



ラグビーワールドカップ2019の開催期間中には、釜石祈りのパークに多くの外国人が足を運び、震災の犠牲者を追悼しました



鶴の郷交流館朝市 (不定期開催) では、新鮮な海産物や農産物を買求める客で長い行列ができました

うのすまい・トモス二周年記念 With ひとつの街

海山連携テイクアウト朝市を開催します

日時	3月20日 (土・祝) 9時～14時 ※星空観察会は18時30分～19時30分
場所	うのすまい・トモス広場
内容	<ul style="list-style-type: none"> 地域特産品の朝市 (海産物、新鮮野菜、漬物、団子、お菓子など) 鶴の郷交流館テナントによる記念品のプレゼント ※数量限定 市内外の飲食店やキッチンカーによるテイクアウト商品の販売 (お弁当、お惣菜、スイーツなど) 釜石高校吹奏楽部有志による演奏会 釜石高校音楽部による合唱 鶴住居虎舞の披露 いのちをつなぐ未来館職員によるスタジアム見学&震災伝承プログラム ※参加無料、先着20人限定 かまいしDMC天文部による星空観察会 (曇り、雨の場合は中止)

問い合わせ うのすまい・トモス事務局 鶴住居町4-901-2 ☎27-5666



市民と一緒に防災に取り組みたい



いのちをつなぐ未来館 (株)かまいしDMC
川崎 杏樹さん (鶴住居町・24歳)

川崎さんは、東日本大震災が起きた当時は釜石東中2年生でした。大学進学のため一度は釜石を離れたのですが、卒業後は釜石に戻りました。現在は、いのちをつなぐ未来館でガイドや語り部、施設運営の仕事に携わっています。

震災当時のことを覚えていますか

地震が起きた時は、バスケットボールの部活中でした。すぐに体育館の外に出ましたが、揺れが収まるどころかどんどん強くなり、津波が来ると感じました。普段から避難訓練は行っていたので、小学生も中学生も無事に避難することができました。

学生時代にも防災について取り組んでいましたか

進学先に、釜石をフィールドにされている先生が偶然いて、その先生と一緒に全国各地で震災についてお話しする機会を頂きました。卒論は防災をテーマにして、より多くの人が助かるために、東日本大震災の時の避難行動の良かった点や課題について考えました。

株かまいしDMCに就職したきっかけは

学生時代から卒業後は釜石に帰ろうと考えていました。釜石でのボランティア活動の際に株かまいしDMCの先輩や同級生と話す機会があり、自分の思いを伝えたいところ、一緒に働こうと誘っていただきました。この仕事であれば、地元のために力になれると思い迷わず入社を決めました。

仕事の状況は

新型コロナウイルス感染症の影響で、修学旅行を県内で回るといふ動きがあり、今年度は県内の小中学校生の来館が多い状況です。また、来館できない人のために、オンラインによるガイドと語り部にも対応しています。需要が多く、現在は来館されているガイドよりも、オンラインでのガイドや語り部の方が多くなっています。

ガイドする時はどんな質問をされますか

震災の体験者として、避難の際は何を考えていましたかとよく聞かれます。記

憶はあまりなく、余裕がなさ過ぎて当時は何も考えることができなかつたと話しています。

この仕事に就いて嬉しかったことは

震災を自分のこととして捉えてくれたり、見たこと聞いたことを家族や周りの人に伝えてくれたり、防災や災害に対する思いが変わってくれたと感じる時に良かったなと感じます。

今後の目標は

市民の皆さんが気兼ねなく足を運んでいただけるような施設にしていきたいです。千島海溝・日本海溝の津波が懸念されている状況なので、外部に向けての情報発信だけでなく、地元の防災意識も向上させたいと思います。

皆さんと一緒に防災に取り組みましょう！

